



第20回 「城里町ふれあいの船事業」 in 北海道

①船甲板見送り②ブリッジ見学③さっぽろ羊ヶ丘展望台④ネイパル砂川⑤旭山動物園⑥ラフティング⑦創作活動⑧夕食⑨小樽市内散策⑩感想文作成

7月22日(火)から7月26日(土)まで、町内の小学校6年生95名(9班編成)が参加して、「城里町ふれあいの船事業」が実施されました。

この事業は、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動を経験し、通常の学校生活では得ることのできない自然とのふれあいや互いの心のふれあいを通して、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的としています。

【ふれあいの船行程表】

1日目	
15:00	出発式(常北公民館)
19:45	大洗港出港
2日目	
8:00	ふれあい活動(はがき作成)
13:00	苫小牧港入港
15:10	さっぽろ羊ヶ丘展望台
17:00	宿泊地到着(ネイパル砂川)
19:00	ふれあい活動(ウォークラリー)
3日目	
9:50	旭山動物園
13:20	空知川ラフティング (もしくは創作活動)
18:30	札幌での夕食
20:00	宿泊地到着(札幌)
4日目	
10:00	小樽市内散策
12:10	小樽での昼食
14:50	ウポポイ見学
18:45	苫小牧港出港
5日目	
9:45	感想文作成
12:50	解散式(船内)
13:30	大洗港到着
15:00	城里町帰省(常北中学校)

実り多い5日間

出発式では、大畑 伊織さん(石塚小)が代表してあいさつし、家族に見送られながら元気に出発しました。

大洗港から苫小牧港までは、約16時間。船中では、親睦を深めるための交流や、家族へのはがき作成などを行いました。

北海道到着後は、さっぽろ羊ヶ丘展望台にてクラーク博士像の前で記念撮影を行いました。

2日目以降は旭山動物園やラフティング、ウポポイなどで北海道の雄大な自然や歴史、文化にふれ、理解を深めることができました。

また、班別行動では高校生リーダーと班長・副班長を中心に計画を立て、限られた時間を有効に使って活動しました。

解散式では、白土 桃百さん(常北小)が代表してあいさつし、この5日間の研修を締めくくりました。

5日間の研修を終えて

「城里町ふれあいの船事業」を通して、子供たちは、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。また、各班のリーダーである高校生の成長も日に日に感じ取ることができ、非常に有意義であったと思います。

5日間の集団生活でお互いに助け合い、認め合い、感謝し合う気持ちが芽生え、解散式では深い感動と充実感が見て取れました。短い期間で一人ひとりが成長を遂げ、心に強く残る船の旅となりました。

また、研修期間中は、大きな事故やけがもなく、参加者全員無事に帰ってくることができました。